

滋賀県のたばこ対策の取組について

1 令和7年度の県の主な取組について

(1)喫煙が及ぼす健康影響についての知識の普及

禁煙週間中に実施

- ・庁舎内での啓発(ポスター掲示、庁舎内放送実施、啓発資材の配架)
- ・県薬剤師会との連携:「禁煙支援薬剤師がいるお店」にて啓発資材を配布
- ・たばこ関係団体や県内大学等との連携:ポスター掲示および啓発資材の配架
- ・エフエム滋賀での情報発信
- ・県公式 HP や SNS、メールマガジンでの情報発信

禁煙週間以外の実施

- ・健康しが公式 Instagram・Facebook における情報発信
- ・世界 COPD デーでの啓発(ちらし作成、SNS 等で配信、庁内での啓発)
- ・イベント等において啓発資材を配布
- ・地域職域保健関係者情報交換会にて、滋賀県薬剤師会によるたばこに関する講演
- ・情報誌等で管内地域・職域向けへ情報発信
- ・管内大学および専門学校にてブースを設置して啓発

(2)20 歳未満の者の喫煙防止(防煙)対策

禁煙週間中に実施

- ・管内の大学・専門学校にブースを設置し啓発

禁煙週間以外の実施

- ・小学校の保健の授業、中学校・高等学校の保健体育の授業での喫煙防止教育
- ・小学校、中学校、高等学校の「薬物乱用防止教室」等の機会に併せて、20歳未満の者の喫煙防止について講義を実施
- ・中学・高校・特別支援学校を通じて対象学年(中2・高1)へ啓発ちらしを配布
- ・情報誌等で管内地域・職域向けへ情報発信
- ・管内の高校に啓発ポスターを掲示

(3)受動喫煙防止対策(改正健康増進法の周知啓発)

①県民向け

禁煙週間中

- ・庁舎内での啓発(ポスター掲示、のぼり旗の設置、庁舎内放送実施(5/31)、啓発資材の配架)
- ・たばこ関係団体や県内大学等との連携:啓発資材の配架を依頼
- ・エフエム滋賀、報知新聞での情報発信
- ・県公式 HP や SNS での情報発信
- ・滋賀産業保健総合支援センターとの連携:メールマガジン配信
- ・(国)受動喫煙対策キャンペーンによる飲食店実態調査
- ・管内商工会・商工会議所との連携(情報提供や啓発資材の配架等)
- ・彦根城、県庁舎、びわ湖花噴水をイエロー・グリーン色にライトアップ
- ・管内の大学等にブースを設置し啓発

禁煙週間以外

- ・健康しが公式 Instagram・YouTube における情報発信
- ・保護者向け情報誌「教育しが」への記事掲載
- ・県民向けちらし「県民の皆様 子どもをたばこの煙から守るために」の配布
- ・幼稚園等を通じて5歳児(保護者)への受動喫煙防止啓発うちの配布
- ・イエロー・グリーンリボンの作成・配布
- ・「受動喫煙のない社会促進会議」(専門部会)の開催
- ・健康福祉事務所内での啓発(資材配布、ポスター掲示等)
- ・管内商工会・商工会議所との連携(啓発資材の配架・配布)
- ・有線放送(あいコムこうか)での発信
- ・SNS を活用した啓発

②第二種施設(事業所)向け

- ・商工会・商工会議所、協会けんぽとの連携:事業者向けちらし「受動喫煙対策で
きていますか?」の配布
- ・労働広報誌「滋賀労働」へのちらし掲載
- ・受動喫煙防止啓発用ステッカーの配布
- ・会議等での受動喫煙対策に係る情報提供・情報発信
- ・事業所(給食施設指導対象施設)における受動喫煙対策状況確認
- ・事業所における喫煙率や課題意識のヒアリング
- ・地域職域保健関係者情報交換会にて、管内企業による受動喫煙対策の情報提
供&グループワーク

③第二種施設(飲食店)向け

- ・滋賀県食品衛生協会との連携:「食品衛生責任者資格認定講習会」にて「飲食店向け改正健康増進法周知啓発ちらし」(R2.4.1以降に許可取得の飲食店用)配布
- ・営業許可新規申請・更新申請手続き、研修会時に「飲食店向け改正健康増進法周知啓発ちらし」の配布、説明等

(4)禁煙の支援

- ・禁煙週間中の周知啓発
- ・母子手帳交付時に禁煙啓発資材の配布(県から各市町に資材を提供)
- ・事業所向け会議等での情報提供
- ・事業所における禁煙支援や敷地内禁煙状況の把握
- ・禁煙支援にかかる医療機関の一覧の更新・啓発
- ・禁煙指導薬剤師がいる薬局・禁煙治療に保険が使える医療機関の一覧を更新(市HPへ掲載)
- ・地域職域保健関係者情報交換会にて、滋賀県薬剤師会より禁煙補助剤や禁煙支援アプリなどの紹介&グループワーク

2 令和7年度「受動喫煙のない社会促進会議」開催報告

健康増進法の改正を受け、自らの意思で受動喫煙を避けることが困難である子どもの健康と安全を守ることを中心としながら、受動喫煙のないまちづくりを促進することにより、全ての県民が、生涯を通じて安心していきいきと生活できる社会をめざし「滋賀県たばこ対策推進会議」の専門部会として令和元年度より設置している。

【開催概要(令和7年9月)】

滋賀県での受動喫煙の現状を把握するとともに、令和8年度の実施内容を検討。

- (1) 令和7年度の受動喫煙防止対策の取組を継続する。
- (2) 子どもの受動喫煙対策は引き続きフォーカスして行う。
⇒第一種施設、第二種施設での受動喫煙は減少しているので、特に家庭や路上の受動喫煙防止対策を強化する。
- (3) 妊娠中の喫煙や妊婦の同居者の喫煙がなくなることに対する取組を強化する。
⇒現在実施中の母子健康手帳交付時の妊婦への啓発は庁内で連携しながら引き続き実施する。
- (4) イエローグリーンキャンペーンは全体で啓発する部分と、フォーカスする部

分と分けて考える。

- ⇒・ライトアップは県民全体に広く受動喫煙のシンボルカラーとしてイエローグリーンを知ってもらうために引き続き実施。
- ・妊婦向けや子ども向けの啓発資材のデザインにイエローグリーンを入れて啓発する。

3 令和8年度の県の実施について

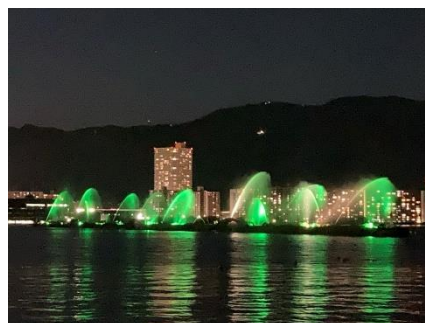
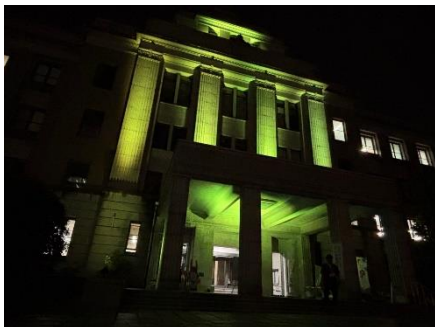
健康いきいき 21 の目標達成に向けて、令和7年度の実施を継続。
特に以下の2点について力を入れて取り組む。

(1)イエローグリーンキャンペーンの展開

令和7年度は、県施設のライトアップやイエローグリーンリボンを作成・配布した。
令和8年度は県公式SNSや広報媒体を活用し、キャンペーンに係る広報を実施することでイエローグリーン色＝(受動喫煙防止のシンボルカラー)であることをより浸透させる。
(例)ライトアップやリボンにこだわらず、禁煙週間に合わせてイエローグリーンの装飾をしたり、身に着けたりした様子を投稿してもらい、気軽にキャンペーンに参加してもらえる工夫をする。

(2)加熱式たばこの正しい知識の周知啓発

加熱式たばこは広告等でクリーンなイメージを持ちがちだが、紙巻たばこに比べて健康影響が少ないかどうかは、まだ明らかになっていない。
間違った情報に流されないよう、特に中学・高校生に正しい知識を普及する。
(例)加熱式たばこにも有害化学物質は含まれていること、健康に悪影響を及ぼす可能性が否定できないことなど、正しい知識を知ってもらうために、「1本目を吸わせない」中高生向けちらしを作成・配布する。



左が県庁舎、右が天津港噴水をライトアップした様子